

## 共助：地域の防災活動にも積極的に参加しましょう！

大規模な災害時には、地域での助け合いが効果的です。市では、自主防災組織の結成や活動の促進を支援しています。

## 自主防災組織を結成し、活動しましょう！

自主防災組織は、地域住民が「自分たちの地域は自分たちで守る」という自覚、連帯感に基づき、災害被害の防止のための啓発活動や訓練（防災）、被害を軽減（減災）するため、事前に決めた役割分担で自発的に防災活動を行う組織です。  
※本市では、自主防災組織を「自主防災会」と呼んでいます。



### 災害発生時

情報収集伝達、水防、初期消火、救出救護、避難誘導、給食給水、避難所運営、二次災害防止のための巡視など

### 平常時

自主防災組織の役割分担、防災訓練や家庭での備えの呼び掛け、災害時の活動に必要な資機材の整備など

地域の防災力を高める

災害による被害を軽減する

災害時の活動の混乱や被害を未然に防ぐ

## 自主防災組織の活動に対する補助制度を活用しましょう！

## 瀬戸内市自主防災組織活動支援事業補助金

自主防災組織が、自主防災活動のために資機材を整備したり、地域の防災意識の高揚を目的とした防災訓練や研修会を開催したりする場合、その経費の一部を補助します。

補助金を受けるためには、事前に、自主防災組織活動支援事業補助金交付申請書の提出が必要です。申請書は市ホームページからもダウンロード可能です。

▷補助金額 事業費の2分の1以内

※限度額 防災資機材整備事業 80,000円  
自主防災活動事業（100世帯以上）50,000円、（100世帯未満）30,000円

▷対象経費 補助金の対象経費などは下表のとおり



区分	内容	補助金交付	
防災資機材の整備	初期消火用	街頭用消火器、消火器格納庫、バケツ、発電機など	5年に1回
	救出救助用	自動体外式除細動器（AED）、ヘルメット、パール、丸太、掛矢、担架、毛布、のこぎりなど	
	避難誘導用	ラジオ、無線機器（簡易で携帯用）、電池メガホン、標識板など	
	給食給水用	給水タンク、緊急用ろ水装置、飲料用水槽、炊飯装置など	
	その他	簡易資機材倉庫	
自主防災活動	防災研修会、防災マップの作成、防災訓練などの自主防災活動	年1回	

## 瀬戸内市総合防災訓練を実施します

▷日時 9月8日（日）午前9時～

▷場所 長船中学校

☎0869-22-3904

※一般参加者の駐車場は、ゆめトピア

長船です。ゆめトピア長船から訓練

会場までは、バスで送迎します。

皆さんの参加をお待ちしています



# 個人と地域の防災力を高める

平成16年8月台風16号による被害（牛窓町地内）

平成2年9月台風19号による被害（邑久町地内）

災害から身を守るためには、自ら防災に取り組む「自助」、近隣や地域の人々が協力して災害に備える「共助」、国や自治体が災害に対応する「公助」の連携が重要です。

特に、災害による被害を少なくするためには、平常時から「自助」「共助」を実施し、災害に備えておくことがとても大切です。

## 自助：自分の命は自分で守りましょう！

### 災害を知る

災害が発生したとき被害を出さないようにするには、お住まいの地域にどんな災害が発生する可能性があるかを知ることが大変重要です。

本市で発生し得る災害は、地震・津波、土石流やがけ崩れなどの土砂災害、河川氾濫による洪水、高潮による浸水害です。

市作成の災害（高潮以外）ごとのハザードマップで、お住まいの地域で起こり得る災害について確認しておきましょう。ハザードマップは、市ホームページ（<http://www.city.setouchi.lg.jp/>）で確認できます。

瀬戸内市 ハザードマップ

## 家族で災害時の行動を考える

東日本大震災では、自宅にいる家族とともに避難しようとして、地震発生後に勤務先や外出先からいったん自宅（津波の浸水域）に戻るといった行動が確認されています。

災害発生時に家族が勤務先や外出先から命の危険を冒して災害の危険がある地域に戻らないように、災害時の行動や合流場所を家族で話し合っておきましょう。

避難する場所やタイミングは、お住まいの地域や家族構成、発生する災害の種類によってさまざまです。

避難する必要があるのか、避難するとしたらどこに避難するのか、いつ避難するのかを家族で話し合っておきましょう。



9月1日は  
家族防災会議の日

## 家庭内の備蓄



災害発生から3日間は、外からの応援は期待できません。

家族構成に合ったものを準備し、災害への備えを万全にしましょう。備蓄は家族3日以上（できれば1週間分）を準備しましょう！

食品	調理不要、簡易に調理できるものを中心に缶詰、ドライフーズ、インスタントラーメン、切り餅、チョコレート、キャラメル、レトルト食品、アルファ化米ほか
水	飲料水は1人1日3リットルを目安に。生活用水は風呂の水を残しておく利用可能
生活用品	毛布、洗面用具、トイレトペーパー、使い捨てカイロ、ビニール袋、キッチン用ラップ、鍋、バケツ、ブルーシート、紙オムツほか
燃料・工具類	カセットコンロ、ガスボンベ、固形燃料ほか